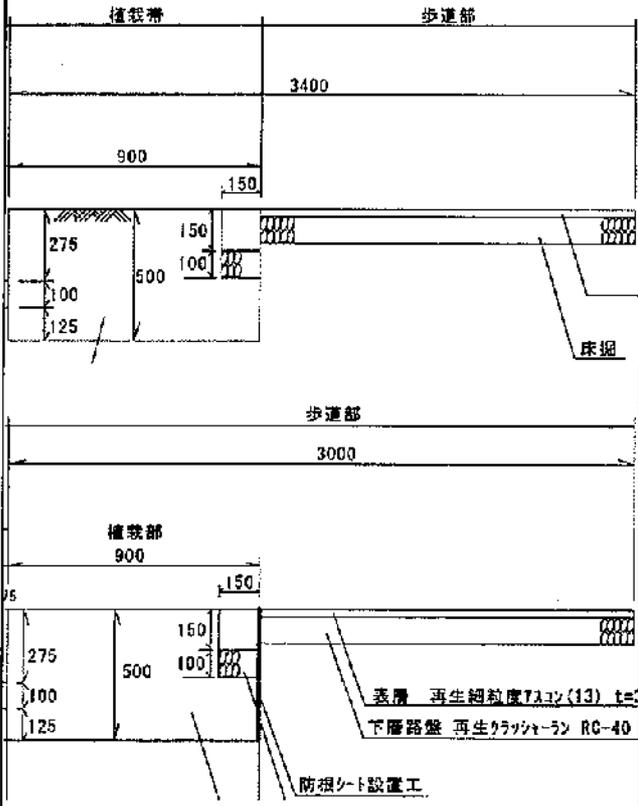
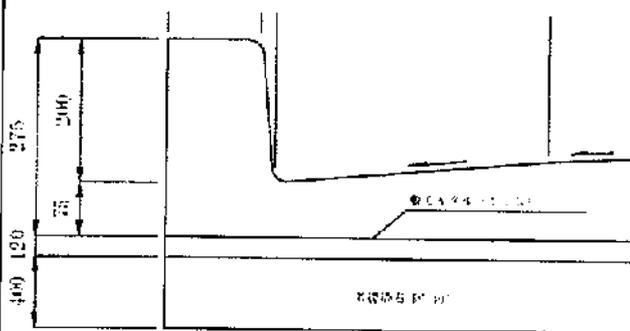
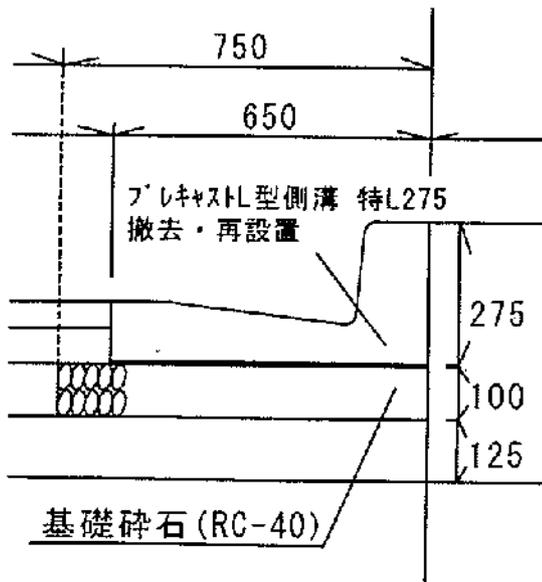


質 疑 応 答 書

工事件名 太白区管内根上り対策工事

		整理番号	244410039
質 問 事 項		回 答	
<p>● 標準横断面図において、歩道部の撤去幅員(3400mm)と復旧幅員(3000mm)に400mmの差異があり整合性が取れないかと思われます。 両図面を重ねると当該寸法線の長さは完全に一致するようですが、こちらはあえて3000mmとして設計されたのでしょうか。 あるいは、変更協議対象でしょうか。</p> 		<p>標準横断面図の復旧幅員は、3400mmです。 なお、現地測量の結果、幅員に変更が生じる場合は、変更の協議対象とします。</p>	
<p>● 詳細図と復旧図・撤去図の整合性が取れません。 例えば詳細図には数モルタル(1:3)の表記がありますが、撤去図・復旧図には見られません。どちらを積算根拠として参照すればよいか分かりません。</p>		<p>復旧図・撤去図は、標準図となっておりますので、詳細図のとおり積算願います。</p>	



● L型側溝(撤去・再設置)の詳細図における寸法表示がスケールフリーとはいえ明らかに誤りがあります。

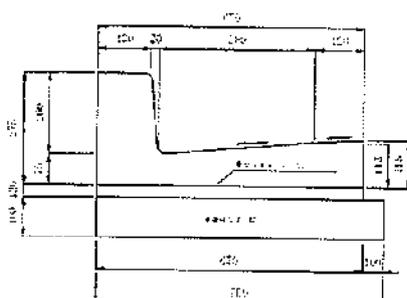
例えば敷モルタル厚は120mmとありますが、明らかにL型側溝部本体の底部厚75mmよりも短く描画されております。

一般的な敷モルタル厚よりかなり厚いようですが、120mmという表記に相違はないでしょうか。

敷モルタルの厚みは、30mmです。また、基礎碎石 (RC-40) の厚さは、100mmです。

詳細図

L型側溝(撤去・再設置)



● 地先境界ブロックは再利用設置(あるいは撤去・再設置)と表記されておりましたが、施工箇所によっては所々既設ブロックが見当たりませんでした。どのようにお考えでしょうか。

実際の数量に関しましては、契約後、変更の協議対象となります。

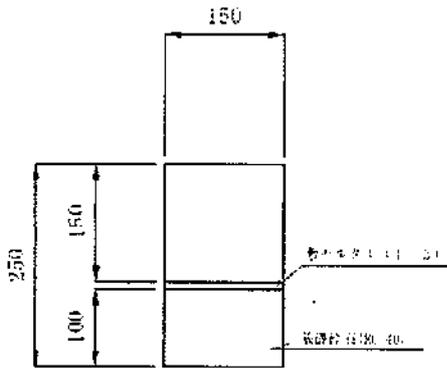
● 「単 22 号 プレキャスト L 型側溝」において「J04 費用の内訳：全ての費用」とありますが、基礎砕石や敷モルタルの材料費・労務費も計上対象であるというご認識でお間違いないでしょうか。

土木工事標準積算基準書に記載のとおり、全ての費用に基礎砕石、敷モルタルの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)が含まれております。

● 地先境界ブロック(撤去・再設置)という図面において、敷モルタル(1:3)の厚み表記が見られませんが、何 mm であるとお考えでしょうか。

敷モルタルの厚みは、30mmです。

地先境界ブロック (撤去・再設置)



注1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合(見積に必要な事項に限る。)にのみ提出して下さい。会社名を記入する必要はありません。